



## 障がい者の方のための 夏季パソコン講座開催

CTF 松阪恒例の夏季パソコン講座、9月のテーマは「カレンダー作り」でした。

受講者の皆さん、ご自分が撮影した写真やインターネットから好みの写真やイラストを取り込んで、写真のようなオリジナルの可愛い卓上カレンダーができました。

今月は、サポート従事者のスキルアップ研修会を開催します。3日(月)、17日(月)、24日(月)の3回、それぞれ別のテーマで開催しますので、日ごろ障がい者の方のITサポートに従事されている会員の方、これからやってみようかと思っておられる会員の方、ぜひご参加ください。お問い合わせと参加申し込みはCTF 松阪事務局までお願いします。



お盆を過ぎてから、かつてより夢であったドイツへ環境等の勉強を兼ねて周遊に行ってきました。

まず感覚が異なったのが、北海道より緯度が高いのに日本にも負けないくらい暑かったことです。四星ホテルでもほとんどのホテルにエアコンが無く、あっても1晩200ユーロ(約2200円)追加料金をとられるということで、当然私はエアコン無しで汗をかきながら寝ました。

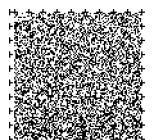
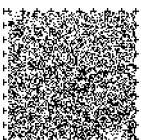
次に、トイレですが、ほとんどの公共トイレは有料であり、トイレの入り口におばさんかおじさんがいて50セントから70セント(約80円)が必要です。障害者トイレについては新しい施設は有りましたが、古い施設等のお城とかケルンの大聖堂等の教会では見かけることはできませんでした。やはりトイレは日本のトイレが一番です。それもシャワートイレが最高だと思います。

そして最後に飲み水です。今では日本でも水を購入して飲むようになってきましたが、レストラン等に入れば無料で水は出てきます。また、食堂等は日本茶は当たり前です。ところが、ドイツで最初出てくるのは、メニューだけで、水がほしかったら、ジュースやビールと同じぐらいの値段で頼まなくては出てきません。約2ユーロ(220円)ほど必要です。ドイツの水道水はと言えば、最初の日の夜にホテルの水を煮沸させてコップに1晩入れておいたら写真(上)の通りとなり、コップの底に石灰が溜まっ



いました。おなかの弱い人は当然おなかをこわします。これらの面と料理のおいしさでは、日本の良さを非常に感じた旅でした。

Y. I



今月号は文字数が多いので、第1ページと第4ページにSPコードを2個付けてあります。第1ページと第4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。



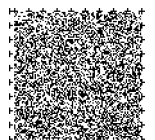
## 98 はプロセスの管理とメッセージ駆動に問題が(2)

Windows 3.1ではメッセージ・キューがシステムに1つしかないため「ノンプリエンパティブなマルチタスク」といわれている。ノンプリエンパティブなマルチタスクの最大の欠点は、あるアプリケーションが制御を行っているときには、制御がWindowsに戻るまで、他のアプリケーションはおろかシステムさえも全く動作しないことにあります。これはアプリケーションが処理をWindowsに渡す前にクラッシュすると、システムがフリーズすることを意味します。

これに対してWindows 98は「プリエンパティブなマルチタスク」を実現しています。プリエンパティブなマルチタスクの場合、発生したメッセージはいったんシステム内にあるシステムの「メッセージ・キュー」に格納されたあと、メッセージのあて先であるアプリケーションが持っている「メッセージ・キュー」に分配されますが、システムのメッセージ・キューとアプリケーションのメッセージ・キューは2段構えで分離されているためWindows 3.1のような問題は起こらないはずなのですが、Windows 98がアプリケーションを実行する場合すべて32ビット・コードで動作するわけではないので、システム・コードの中でもUserモジュールとGDIモジュールは互換性を維持するため、部分的にWindows 3.1時代の16ビット・モジュールをそのまま使っているためアプリケーションが32ビット・コードで作られていても、OS内部では常に16ビット・コードが使用されてしまうのです。このコードは「アプリケーションがメッセージを処理中には、別のアプリケーションがシステム・コードを実行しない」という前提で作られているので、Windows 98のようなプリエンパティブなマルチタスク環境では、あるアプリケーションがメッセージの処理中でも、一定の時間が経過すれば制御は別のアプリケーションに切り替わる。そしてそのアプリケーションがさらに同じシステム・コードを実行する可能性がある。このような事態に16ビット・コードは対応できないのです。

そこでWindows 98では「Win16Mutex」と呼ばれる苦肉の策をとっています。

つづく



## 活動報告

【9月】

障がい者対象個人向けパソコン講座  
(6日、13日、20日、27日)

障がい者の方のための夏季パソコン講座  
(5日、12日、26日)

訪問ITサポート  
(7日、28日、29日)



## 活動予定

【10月】

障がい者対象個人向けパソコン講座  
4日、11日、18日、25日  
各 9:30~11:30

松阪市障害者福祉センターにて

障がい者の方のための夏季パソコン講座  
3日、17日、24日  
各 9:30~11:30

松阪市障害者福祉センターにて

## 松阪食べある記

### 中華そば 花紋 (かもん)

今月は久保町の三重高通り沿いにある「中華そばの花紋」を訪ねました。

日本料理店の雰囲気のお店構えと小奇麗な内装で、オシャレで落ち着いた空間が用意されています。

メニューは塩、醤油、味噌など中華そばが6品とシンプルですが、鶏ガラスープと思われるスープも、見た目ほどではなくあっさりしています。麺も滑らかさとコシのある旨い麺でした。

メニューのひとつ松阪中華そばは、野菜たっぷりのあっさりした昔懐かしい中華そばと言われ、年配のお客様にも人気とのこと。

写真は、店の外観 (上)

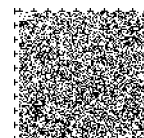
松阪中華そば 750円 (下)

所在地：松阪市久保町 1887-8

電話：0598-29-4750

営業時間：11:00~15:00 (OS:14:30)  
17:30~24:00 (OS:23:30)

定休日：毎週木曜日





今月は、今年5月にCTF松阪に入会されましたS.Y様からご投稿いただきました。S.Y様は、明和町にある障害者通所授産施設にお勤めです。

今年から会員として参加させていただきますS.Yと申します。宜しくお願い致します。

故郷新潟を離れて14年が経ち、すっかり三重県の風土に馴染みました。気候がそうさせるのか、三重の人は穏やかでのんびりしていて、温かみを感じます。故郷では一年の3分の1は雪に覆われてしまいますので、人生の3分の1は灰色の世界で暮らす事になります。氣質が違って当然なのかもしれません。

さて、仕事上私は知的障がいの方達と共に過ごす時間を多く持っております。この方たちも、何処かのんびりとマイペースで、温かみのある毎日を楽しんでいます。もしかしたら、三重県にお邪魔したのも、又、この仕事を選んだのも、自分自身がそんな穏やかさを求めていたのかなあと感じる事があります。

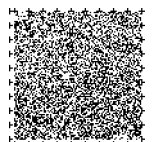
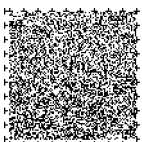
昨年生まれた娘のやんちゃぶりを眺めては、つくづく穏やかな温かみのある人間に成長してくれればと思います。



### 編集後記

先月は大きい台風が2回もこの地方を襲いました。紀伊半島に大きい被害のつめ跡を残しました。今年は色々と天変地異・・・

10月は天高く馬肥ゆる秋・・・空は澄み切った気持ちのいい季節です。紫外線対策をして少し外に目を向けて、自然と触れ合ってみては如何でしょうか？又思わぬ楽しいことに、出会うかもしれませんよ・・・



## CTF 通信第 103 号

2011年(平成23年)10月発行

発行者 ITを活用した障がい者支援NPO法人

CTF 松阪

発行責任者 川 口 保 美

住 所 〒515-0081

松阪市本町2181-1

電 話 0598-21-7268

U R L <http://ctf.dip.jp/>